

川崎市に 新たなDXモデルを

令和5年度川崎市中小企業
DXモデル開発支援事業

成果報告会

参加無料

2024年 **3月14日** 木 14:00-17:00 (受付開始13:30)

@K-NIC

基調講演

「今日から使える! ChatGPT活用術」

我妻 裕太氏 株式会社GROWTH JAPAN TECHNOLOGIES 代表取締役社長

ChatGPTの可能性と実践的なビジネスへの応用方法を3つの視点から解説いただきます。

「IMPACT」 ChatGPTがもたらすインパクトと話題性
ChatGPTが社会に与えている影響とその広がりについて探求し、技術革新が生活やビジネスにもたらす変化について解説いただきます。

「What is?」 ChatGPTの背後にあるOpenAI社とは
ChatGPTの背景、開発目的、特徴、使用上の留意事項とともに、広範囲AIと特定型AIの違いについても解説いただきます。

「FUTURE」 未来へ! ChatGPTビジネス活用事例
ChatGPTをビジネス環境でどのように活用できるのか、実際の事例研究とともに、ChatGPTの企業成長への貢献について解説いただきます。

「ChatGPTと対話しながら新規事業を作り出そう」

山本 優樹氏 デロイトトーマツ リスクアドバイザー合同会社 シニアマネージャー

新規事業創出経験が乏しい方でも、ChatGPTを活用して効率的に新規事業創出のための分析や検討を行うことができるようになりました。そのノウハウをお見せします。

成果報告

令和5年度川崎市中小企業DXモデル開発支援事業の採択企業2社による、成果報告を行います。

「属人的製造現場ノウハウをDXで継承するナレッジ電承システムの事業化」
株式会社青山プラスチック塗装

「物流の2024年問題に向けたトラックの広告掲載の価値推定」
株式会社Essen

企業交流

参加者交流会等

お申込方法

2024年3月12日(火)17:00までに以下の申込フォームよりお申込みください。
申込リンク <https://forms.office.com/e/4DK7AgMf2K>



川崎市では、人口減少や原油価格・物価高騰など、急速に変化する社会環境の中で、デジタル技術とデータを活用し、事業の再構築や新たなビジネス創出に取り組む事業を公募し、実証実験を伴走支援してきました。
本イベントでは、採択した2つの事業の成果報告会を開催します。成果報告会では、各採択事業の実証実験の成果を報告するとともに、近年話題のChatGPTをトピックにした2つの基調講演を予定しております。
成果報告後には、採択企業2社も交えた、参加者交流会も設けておりますので、ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

タイムスケジュール

第1部

基調講演

14:00

15:30



「今日から使える！ ChatGPT活用術」

我妻 裕太氏 株式会社GROWTH JAPAN TECHNOLOGIES
代表取締役社長

AIを活用したビジネスソリューションの開発を手掛け、数々の賞を受賞し、2020年には「東北ビジネスデザイン東北経済産業局長賞」を受賞。2021年にはAIを活用した送電鉄塔の腐食劣化度診断システムで「インフラメンテナンス大賞」において日本初となる「経済産業大臣賞」を受賞。また、東北でも最先端で活躍している企業様が参加している東北経済産業のTOHOKU DX大賞で製品・サービス部門にて優秀賞「東北経済連合会長賞」も受賞。最新のAI関連情報を発信する日本ディーラーニング協会(JDLA)メディアパートナーにも掲載される開発と営業を兼務するAIセールスエンジニア。



「ChatGPTと対話しながら新規事業を作り出そう」

山本 優樹氏 デロイトトーマツ リスクアドバイザー合同会社
リスクアドバイザー事業本部デロイトアナリティクス シニアマネージャー
東京大学 未来ビジョン研究センター客員研究員

テキスト・オーディオ・画像領域におけるAI・機械学習技術の研究開発において15年以上の経験を有する。前職では世界的な電機・エンタテインメント企業のR&D部門にて、AI・機械学習を応用した技術開発に従事し、これを電化製品(ヘッドフォン、スマートフォン、テレビ、ゲーム機など)、ISO/IEC国際標準技術、および映画・音楽・ゲームのコンテンツ制作現場に導入した。2022年から東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員。AIガバナンスの実践と高度化、並びに生成AIの社会導入、生成AIを活用した社会の定量評価、AIリスク対策に関する調査研究に従事。

第2部

成果報告

15:40

16:25



「属人的製造現場ノウハウをDXで継承する ナレッジ電承システムの事業化」

株式会社青山プラスチック塗装

塗装・印刷治具の設計・製造は、経験と知見を持つベテラン職人が個々のノウハウに基づいて行っている一方で、製造現場の人材難、ベテラン職人の高齢化が進み、次世代への技術承継が課題となっています。そこで、工程や設計手順等の職人ノウハウを可視化し、デジタルで伝承できるシステムを開発することで課題解決を図ります。また、今回の実証で得られた知見を同様の悩みを持つ製造業への新サービスとして展開します。



「物流の2024年問題に向けたトラックの広告掲載の価値推定」 株式会社Essen

リアルタイムの位置情報をクラウドに送信できるデバイスを開発して事業用トラックや軽貨物配送車に搭載した上で、広告を掲載して走行させ、取得した位置情報や当社の持つ人流データなどを活用し、広告が閲覧された場所や回数を可視化することで広告の効果をAIで測定します。広告効果の測定を踏まえた費用対効果の高いトラック・軽貨物配送広告を実施することにより、物流の2024年問題に直面する運送業界の収益性改善に貢献する新たなサービスの提供に向けて実証を行います。

第3部

参加者交流会等

16:25

17:00

本事業の採択企業との交流会を設けております。採択企業の事業内容、DXモデル事業の詳細な内容を知ることができる貴重な機会となります。また、名刺交換を通じて、今後の事業連携にもご活用いただけますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

令和5年度川崎市中小企業DXモデル開発支援事業は川崎市が有限責任監査法人トーマツに委託し実施するものです。

【主催】川崎市

【お問い合わせ先】令和5年度川崎市中小企業DXモデル開発支援事業事務局 TEL:044-200-2324 MAIL:dx-kawasaki@tohmatu.co.jp